

合理的配慮を必要とする方への 修学支援につきて

サレジオ工業高等専門学校
学生支援センター

2025年4月版

★ こんな困りごとはないですか？

- ・ 板書をノートに写すのが大変
- ・ プリントの文字や図が読み取れない
- ・ 先生の声が聞き取れない
- ・ 病気や怪我で体育の授業を受けられない 等

★ 学生支援センターとは

高専生活は中学校までの生活に比べると、自立に関する変化の多い時期です。学業・部活動・就職活動と、様々なことを自分で計画し実行しなければなりません。

サレジオ高専は、高専生活におけるつまずきや困り感のある学生、障害のある学生ができるだけ他の学生と同じように学校生活を送れるよう、修学支援を検討・実施したいと考えています。

学生支援センターは、その修学支援の検討・実施がスムーズに進むよう学内の調整を行います。

★ 利用できる修学支援の例

- ・ 試験用紙の拡大
- ・ ノートテイクおよび課題作成目的の PC 使用許可
- ・ 教室内座席配慮 等

★ 必ずご理解頂きたいこと

- ・ 修学支援はお困りの内容に応じて個別に対応しますが、全てにおいて支援ができるわけではありません。
- ・ 学生ご本人との面談から修学支援の検討が始まります。学生ご本人の同意、保護者の方の同意をそれぞれ必須としているため、学生ご本人と学生支援センターのみの合意、あるいは保護者の方と学生支援センターのみの合意にて、修学支援実施を決定することはいたしません。

★ 修学支援相談のながれ

0. 身近な教職員・カウンセラーに相談

担任を初めとする身近な教職員・カウンセラーに相談してください。適切なアドバイスを受けることで、つまずきや困り感が解消されることもあります。

教職員・カウンセラーから「学生支援センター（修学支援相談員）」への相談を勧められたら、1に進みます。

1. 修学支援相談員に相談

修学支援相談員（204室 北川）をお訪ねください。
面談を実施し、困り感や障害の状況、希望する支援の内容等を確認します。
必要に応じて、保護者をお招きして三者面談を実施します。

支援申請が決定しましたら、2に進みます。

2. 修学支援申請書類を準備

支援申請に必要な「修学支援申請書」と「根拠資料」を準備してください。
「修学支援申請書」は、修学支援相談員からお渡しします。
「根拠資料」は、障害や必要な支援の内容がわかる書類を指し、
「障害者手帳の写し」あるいは「医師による診断書」の添付を原則とします。
学内外の専門家の所見記述書、心理的検査の結果等の場合、
その取扱を学生支援センターにて判断します。

支援申請書類が準備できましたら、3に進みます。

3. 修学支援申請書類を提出

申請書類（「修学支援申請書」＋「根拠資料」）を修学支援相談員に提出してください。学生支援センターと学内の関係者が支援内容等について検討します。
必要に応じて、保護者をお招きして三者面談を実施します。

提供可能な修学支援の実施が学内で承認されましたら、4に進みます。

4. 承認された修学支援を開始

「修学支援決定通知書」を発行し、支援開始となります。
支援内容の妥当性を確認する面談を定期的に行います。

★ 修学支援相談窓口



修学支援相談窓口
(お気軽にお訪ねください)

サレジオ工業高等専門学校 学生支援センター

学生支援委員長 北川大介 (204 室)